

令和4年12月1日発行

倉吉市議会だより

白壁

9月定例会

この議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを基に掲載しています。



今号の内容

- 市政に対する一般質問・・・・・・・・・・ 2～7
- 議案に対する質疑・・・・・・・・・・ 8～10
- 特別委員会・・・・・・・・・・ 11
- 常任委員会・・・・・・・・・・ 12～13
- 議案等の議決結果・・・・・・・・・・ 14
- 倉吉市小学校及び中学校設置条例の一部改正について・・・・・・・・・・ 15
- 市民の声・12月定例会・編集後記・・ 16



「関金子供歌舞伎」～せきがね里見まつり～ 関金小学校の児童が、子供歌舞伎を堂々と見事に演じていました。

令和4年9月第6回倉吉市議会定例会が、令和4年9月5日(月)から9月22日(月)まで開催されました。会議録(質問・答弁など)は市立図書館でご覧になれます。市議会会議録検索システムは、倉吉市ホームページからご利用できます。

市議会会議録検索システム



No. 23



【市政に対する一般質問】

【一般質問とは？】

年4回の定例会で行うことができます。議員が、市の事務の執行状況や今後の方針などについての報告や説明を市長や執行機関の長に求め、適切な市政運営が行われているかを質すものです。倉吉市議会では、基本的に1人あたりの質問時間は25分です。

会派名	議員名	発言通告要旨	
公明党・改革新政会市議団	福井 康夫	安倍元総理の国葬と追悼の在り方について	
		倉吉市中心市街地等活性化について	
		◎ 県立美術館の現状について	
		◎ 再生可能エネルギーの導入について	
		地方公務員法の一部改正について	
	竺原 晶子	パートナーシップ・ファミリーシップ制度について	
		◎ 福祉避難所について	
		学校のタブレット持ち帰りについて	
		◎ 性暴力対応マニュアルについて	
		「世界平和統一家庭連合」=旧統一教会の関連団体との関わりについて	
	鳥飼 幹男	◎ 国民健康保険料納付通知書について	
		◎ 行政と民間の連携によるPFI事業について	
	鳥羽 昌明	一人親家庭のリモートワークを支援する企業誘致について	
		◎ ゼロカーボンシティ宣言と今後の取り組みについて	
		◎ 子どもの弱視・近視対策について	
		視覚障がい者の移動支援について	
		コロナ第7波の介護現場の現状について	
	くらよし	丸田 克孝	◎ 高校生通学費助成の令和4年度第1回申請状況について
◎ 新型コロナウイルスについて			
大月 悦子		◎ 新型コロナウイルスについて	
		◎ 大雨による水害について	
大津 昌克		◎ 倉吉市の男女共同参画社会推進について	
		◎ 倉吉市公立保育所の再編計画について	
藤井 隆弘		成徳・灘手・明倫小統合後の新小学校名候補決定について	
		◎ 合併後の倉吉市財政の特徴と課題について	
こころ		田村 閑美	◎ 教育のまちづくりについて
			◎ 共助のまちづくりについて
	◎ 生活困窮者への支援について		
	◎ 倉吉博物館の役割と今後の展望について		
		◎ 大御堂廃寺跡ガイダンス設計へのパブリックコメント対応について	
		◎ 倉吉SDGs取組み進捗状況について	

会派名	議員名	発言通告要旨
さがき	山根 健資	◎ 体育施設等の減免措置について
		◎ 中部小学校水泳大会不参加について
		◎ 教育現場におけるタブレット活用の現状について
	福井 典子	◎ 企業版ふるさと納税活用事業について
		◎ 令和3年度市民意識調査について
	米田 勝彦	◎ 政策の決め方について
		◎ 関金振興について
		◎ 学校統合について
		◎ 防災行政無線について
	朝日 等治	◎ 交通安全について
◎ 防災について		
◎ スポーツ・ツーリズムについて		
◎ 移住定住について		
◎ 庁舎管理について		
うつぶき	鳥羽 喜一	◎ 史跡の保護及び整備について
		◎ 人口減少社会に向けた倉吉市の取り組みについて
		◎ 学校統合について
日本共産党	佐藤 博英	◎ 生活保護者及び低所得高齢者へのエアコン設置支援について
		◎ コロナ対策について
		◎ 中山間地問題について
		◎ 市職員の相談窓口について

◎印のついた質問は、次頁以降に記載しています。

一般質問通告一覧表より

【通告とは？】

本会議で発言しようとする議員は、あらかじめ議長に対して質問する項目を明らかにするために、文書で通告を行います。この文書を「質問通告書」と言います。

なお、この通告一覧表は定例会開会日のおおむね2週間前に倉吉市ホームページに掲載しています。

定例会の一般質問
発言通告表



■ 県立美術館の現状について
■ 再生可能エネルギーの導入について



ふくい やすお
福井 康夫
Fukui Yasuo

公・新

問 県立美術館周辺整備状況とガイドランス施設についての現状は。

答 ガイダンス施設は、平屋に変更。展示内容については調整を図っているところ。

問 展示品としてウォーホルの作品の購入、3億円について「衝撃の値段」など疑問の声が上がっているが、教育長の感想は。

答 話題性があり、9月13日からの県内説明会に期待している。

問 農地等への太陽光発電施設の設置の現状は。

答 農地転用して18カ所2・85ha設置。440戸分の発電能力。営農型は2件ある。いずれにしても再生可能エネルギーに対する関心は高まっている。

■ 福祉避難所について
■ 性暴力対応マニュアルについて
■ 国民健康保険料納付通知書について



じくはら しやうこ
竺原 晶子
Jikuhara Shoko

公・新

問 当事者団体に案内し、我が家の避難プラン作成の取組の実施を。

答 倉吉市障がい者地域自立支援協議会を通じて研修会等の開催を検討したい。

問 マニュアル作成の現状と今後の予定は。

答 他県の情報収集をし、準備中。本年度倉吉市に異動してきた教職員を対象に、昨年実施した研修を10月に実施予定。今年度中には倉吉市性暴力対応マニュアルを作成し、校長会を通して周知後、各学校で研修会を実施し、運用を始めたい。

問 国民健康保険料納付通知書に個人内訳額の掲載を。

答 次のシステム改修時には表示内容の変更を検討したい。

■ 行政と民間の連携によるPFI事業について



とりかい みきお
鳥飼 幹男
Torikai Mikio

公・新

問 PFIとは公共施設の整備にあたって民間の資金やノウハウを活用することで、行政が直接実施するよりも効率的に公共サービスを提供できる手法だが、市営長坂新町住宅建替工事にPFIを導入することでコスト削減が図れるのか。

答 建設から解体までの一括発注とすることで経費の削減、工期短縮につながることで、コスト削減が期待できる。

問 本事業は、市営住宅単独の建設であり、民間事業者のノウハウの発揮も限定的だが、PFIの導入は適さないのでは。

答 事業内容が適当なのか再調査している。適否を判断し、その結果で事業を進めるか決定していきたい。

【会派名】くらよし 公・新 公明党・革新新政会市議団 ささきがけ 共産党 うつぶぎ 二



■子どもの弱視・近視対策について
 ■ゼロカーボンシティ宣言と今後の
 取組みについて

問 人間の目は6〜8歳でほぼ完成することから、目の異常は、早期発見・早期治療が求められる。3歳児健診時に屈折検査機器の導入を。

答 検査精度を上げるものとして大変有効だと考えている。検査を行う視能訓練士や、精密検査が必要となった場合に受け皿となる医療機関との調整が出来次第、機器の導入を実施していきたい。

問 市の率先した取組みが求められる。庁舎や公共施設への自然エネルギー導入についての考えは。

答 民間事業者に公共施設の屋上を貸し出すなど、太陽光発電設備等の設置を進め、地域電力の構成の変化について、支援・協力をしていきたい。

公・新

とば まさあき
鳥羽 昌明
 Toba Masaaki



■新型コロナウイルスについて
 ■大雨による水害について

問 ワクチンの接種状況は。
答 初回接種も含め、追加接種、小児接種を中心に実施している。

問 食事の確保、抗原検査キット購入支援、収入減の方への支援は。

答 食事の確保が大変な方は、保健所からのしおり等で対応。抗原検査キットの支援は考えていない。収入減の方へは傷病手当金等で対応している。

問 農業用水路と他の水路との接続状況で不具合が生じている。防災、減災のための田んぼダムについて。

答 国道313号の冠水は県と協議の上、対応する予定。水路の不具合は自治公民館単位で情報提供をして欲しい。田んぼダムは、今後進めていく。

<

まる た か かつ た か
丸田 克孝
 Maruta Katsutaka



■倉吉市の男女共同参画社会推進について
 ■倉吉市公立保育所の再編計画について

問 男性トイレへのサンタリーボックス設置は。

答 市庁舎及び市の施設に通知し、83の全施設に設置した。市内のあらゆるトイレには普及していないので、必要性などホームページなどで啓発する。

問 女性消防士を大幅に増やす取組は。

答 男女共に必要な職場であることを強調するなど工夫した募集に努めている。

問 市内西部エリアの保育施設整備のための再編計画は。

答 現在、挙がっている候補地について保護者等に聞き進めていきたい。

問 市長の描く保育施設とは。

答 通わせたい、働きやすい保育施設にしたい。

<

おおつき えつこ
大月 悦子
 Otsuki Etsuko



■合併後の倉吉市財政の特徴と課題について



おおつ まさかつ
大津 昌克
Otsu Masakatsu



問 旧グリーンズコーレ新設について、宿泊業は本来民間がすべきもの。前指定管理者は管理料ゼロの上、年間2,000万円を市に納付。現計画は、年約3,500万円もの税を投入予定。その費用対効果と意義は。

答 宿泊施設運営という面では、ご指摘のとおり民間分野と思う。前事業者は市への納付金2,000万円を含め年間1,600〜4,700万円の赤字だった。確かに管理料の代償はあるが、公共施設として再生する以上ある程度はやむを得ない。公費投入に見合う効果、社会的価値があるか等を判断し今後、年度末に向けて提案したい。

■教育のまちづくりについて
■共助のまちづくりについて



ふじい たかひろ
藤井 隆弘
Fujii Takahiro



問 水泳授業の民間委託やプール活用は、経費面や学習指導面でも有効。水泳授業の取組や方向性を問う。

答 市営温水プール等を利用した水泳指導を検討しており、令和5年度から自校のプールを使わず、温水プールか他の施設で授業が出来るか試行をしていきたい。

問 「市は職員の自治公民館活動の加入に配慮しなければならぬ」が、どのような働きかけを行っているか。

答 職員研修の中で地域活動の必要性、職員として地域との関わり方について研修したい。アンケート等を実施し、出来れば100%加入を目指して徹底させたい。

■生活困窮者への支援について
■倉吉博物館の役割と今後の展望について
■大御堂廃寺跡ガイダンス施設設計へのパブリックコメント対応について



たむら しずみ
田村 閑美
Tamura Shizumi



問 単独世帯高齢女性への共助支援ばあばのランチ等を望む。

答 地域や社協などと一緒に共助を含む支援を進めたい。

問 盆の休館日見直しと博物館盛り上げについて。

答 お客様の利便性を考慮し、臨時開館等の対応を考え、来年の開館50周年企画でさらに盛り上げたい。

問 ガイダンス施設設計へのパブコメは活かされるのか。

答 参考にし、再設計する。

問 周辺におもてなしスポットをつくってはどうか。

答 今のところは難しい。



■ 体育施設等の減免措置について
 ■ 教育現場におけるタブレット活用の現状について
 ■ 中部小学校水泳大会不参加について



やまね けんし
 Yamane Kenshi

さ

問 体育施設の減免措置について「都度協議」で減免措置を受けられる申請窓口は。

答 倉吉スポーツセンター、社会教育課にご相談いただけます。

問 市内の小・中学校にタブレットが導入されているが、子どもたちへのルーター環境整備に予算を分けることは可能か？

答 今の調整状況を確認し、どんな対応ができるか検討したい。

問 不参加決定に伴い、意見のあった内容と件数は。

答 働き方改革について統一性が無いのはなぜかを問うもの。参加を希望するもの。放課後練習に反対するもの3件。

■ 企業版ふるさと納税活用事業について
 ■ 令和3年度市民意識調査について



ふくい のりこ
 Fukui Noriko

さ

問 企業版ふるさと納税活用事業（人材育成）の概要は。

答 東京を中心とした都市部の企業の方の役職クラスを招き、今後倉吉を担う30〜40代の企業経営者等7名に市職員も加わって、倉吉の発展について考え、新たな戦略に取り組んでいく。

問 市民意識調査は、どう活用されているか。

答 結果は、総合計画の評価資料として次年度の方向性に活用している。

問 年代が若いほど市のHPや市報を見ている割合が低く回答率も低いがどう対処するか。

答 成人式や子育て支援センター等、若い人が集まる機会を捉え、周知チラシを配布し、関心を持ってもらう。

■ 政策の決め方について
 ■ 関金振興について
 ■ 学校統合について
 ■ 防災行政無線について



よねだ かつひこ
 Yoneda Katsuhiko

さ

問 アンケート、経験、前例、だけではなく、保有するデータを活用して、明確な根拠に基づいた政策を。

答 市民の皆様の意見を聞きながら取り組んでいる。

問 市に「関金振興本部」を設け、活性化に取り組んでは。

答 既存の関金支所と本所で対応していきたい。今後、必要があれば検討していきたい。

問 学校の歴史はどう受け継がれていくのか。

答 統合準備委員会、地域の方と協議しながら、歴史資料室を作って保存する。

問 新しくなる受信機の機能は。

答 いま付いている機能の他に停電時に使うライト、AM・FMラジオの追加を検討している。

交通安全について
 防災について
 スポーツ・リズムについて
 移住定住について
 庁舎管理について
 史跡の保護及び整備について



あさひ とうじ
朝日 等治
 Asahi Tohji

さ

- 問** 高齢者の安全を最優先に点検・対策されないか。
- 答** 点検し、公安委員会の対策につなげる。
- 問** 消防施設等点検時の役割を振り返られないか。
- 答** 自衛、公設消防団、本市の役割を明確にする。
- 問** 伯耆国ロングトレイルを活用されないか。
- 答** NPO法人等の取組と連携して対応していきたい。
- 問** エシカルライフ独自のメニュー等を開発されないか。
- 答** 情報提供し、移住者の増加・地域の活性化に努めたい。
- 問** 東庁舎をどう考えるか。
- 答** 公共施設等個別施設計画に基づき対応する。
- 問** 伯耆国庁跡周辺を一体的に保護・整備されないか。
- 答** 保存活用計画の策定を検討していきたい。

【会派名】 ◀…くらしよし 公・新…公明党・改革新政会市議団 さ…さきがけ 共…日本共産党 う…うつぎき こ…こころ

■人口減少社会に向けた倉吉市の取り組みについて



とば きいち
鳥羽 喜一
 Toba Kiichi

う

- 問** 中部全体が人口減少に苦しんでいる中、1市4町で手を取り合って課題解決を行う場である「ふるさと広域連合」を活用し、資産の共同活用を進めていけないか。
- 答** 1市4町の副首長で効率化の議論を始めるところ。各首長でも意見交換を行う。
- 問** 少子化の進行で統合しても統合しても更なる統合が必要になるような統合問題が常に存在する状況に本市は陥る可能性がある。その場しのぎの統合ではない「大胆な統合」を選択肢として議論する必要はないか。
- 答** 将来は生徒数減によって小学校を1校にすることは、制度上、可能である。ただし、地域の理解を得ることは困難だろう。

■生活保護者及び低所得高齢者へのエアコン設置支援について



さと ひろひで
佐藤 博英
 Sato Hirohide

共

- 問** 低所得者に対するエアコン助成と電気代助成を。
- 答** エアコン助成については、情報をとって考えてみたい。
- 問** 障がい者小規模作業所利用者への仕事調達と通所交通費への助成を。
- 答** まずは、目標達成のため、努力したい。交通費は周辺町の経緯も聞いてみたい。
- 問** 市営住宅内の除雪への支援と説明会を。
- 答** 小型除雪機の使い方等の指導をさせていただくが、その地域や地区でお願いしたい。
- 問** 市営住宅の低所得者への家賃減免制度を。
- 答** 県内3市は対応しているのので、検討したい。





【議案に対する質疑】

執行部から提出された議案に対し、各議員が質疑を行いました。

※自らが所属する常任委員会の所管事項については、本会議での質疑は原則控えることとなっています。



市議会提出議案

議員名	通告	担当部局	議員名	通告	担当部局
鳥飼 幹男	R04一般補正 職員管理	総務部	大月 悦子	R03一般決算 定住対策事業	生活産業部
	R04一般補正 史跡大御堂廃寺跡整備事業	教育委員会		R03一般決算 倉吉市くらしよし産業元気条例推進事業	生活産業部
	R03一般決算 総合交通対策（企画）	総務部		R03一般決算 妊娠・出産包括支援事業	健康福祉部
	R03一般決算 水防対策	総務部		R03一般決算 公民館活動	教育委員会
	R03一般決算 生活保護	健康福祉部		R04一般補正 観光施設維持管理事業（関金地区）	生活産業部
	R03一般決算 児童福祉総務（新型コロナウイルス感染症対策）	健康福祉部	大津 昌克	R03一般決算 【総括】財産に関する調書	総務部
	R03一般決算 保育所運営（新型コロナウイルス感染症対策）	健康福祉部		R03一般決算 【歳入】市民税	生活産業部
	R03一般決算 倉吉打吹地区街なみ環境整備	建設部		R03一般決算 【歳入】固定資産税	生活産業部
	R03一般決算 県道改良事業費地元負担金（街路事業）	建設部		R03一般決算 【歳入】たばこ税	生活産業部
	R03一般決算 農林水産業補助災害復旧	建設部		R03一般決算 【歳入】たばこ税	生活産業部
R03一般決算 農林水産業単独災害復旧	建設部	R03一般決算 【歳入】都市計画税		生活産業部	
藤井 隆弘	R03一般決算 ふるさと納税	生活産業部		R03一般決算 関金エリアトイレ・公園管理	総務部
	R03一般決算 生活困窮者自立支援	健康福祉部		R03一般決算 【歳入】不動産売払収入	総務部
	R03一般決算 幼児教育・保育利用者負担無償化事業	健康福祉部		R04一般補正 観光施設維持管理事業（関金地区）	生活産業部
	R03一般決算 家庭児童相談室運営	健康福祉部		鳥羽 喜一	R04一般補正 企画政策推進
	R03一般決算 適正配置準備	教育委員会	R03一般決算 【総括】基金の状況		総務部
	R03一般決算 運動部活動外部指導者活用	教育委員会	R03一般決算 【総括】職員数	総務部	
	R03一般決算 部活動指導員配置事業	教育委員会	R04一般補正 人件費	総務部	
	R04一般補正 商工業振興	生活産業部	R04一般補正 観光関連団体助成事業	生活産業部	
	R04一般補正 小学校運営（学校）	教育委員会	笠原 晶子	R03一般決算 定住対策事業	生活産業部
	R03一般決算 倉吉未来中心周辺環境整備事業	総務部		R03一般決算 若者定住・IJUターン事業	生活産業部
R03一般決算 総合交通対策（企画）	総務部	R03一般決算 ふるさと納税		生活産業部	
R03一般決算 敬老会及び敬老の日記念	健康福祉部	R03一般決算 妊産婦・乳幼児健康診査		健康福祉部	
R03一般決算 シルバー人材センター補助	健康福祉部	R03一般決算 母子健康教室		健康福祉部	
R04一般補正 表彰式・叙勲・褒章	総務部	R03一般決算 乳幼児集団健康診査		健康福祉部	
R04一般補正 住宅リフォーム助成事業	建設部	R03一般決算 小学校教材整備		教育委員会	
R04一般補正 史跡大御堂廃寺跡整備事業	教育委員会	R03一般決算 中学校教材整備	教育委員会		
米田 勝彦	R04一般補正 観光一般	生活産業部	鳥羽 昌明	R03一般決算 造林	生活産業部
	R04一般補正 観光関連団体助成事業	生活産業部		R03一般決算 緊急間伐	生活産業部
田村 閑美	R04一般補正 企画政策推進	総務部		R04一般補正 庁舎等管理	総務部
	R04一般補正 中学校運営（総務）	教育委員会		R04一般補正 企画政策推進	総務部
	R04一般補正 史跡大御堂廃寺跡整備事業	教育委員会	朝日 等治	R04一般補正 商工業振興	生活産業部
	R03一般決算 生活保護	健康福祉部		R04一般補正 観光施設維持管理事業（関金地区）	生活産業部
福井 典子	R03一般決算 ファミリーサポートセンター事業	健康福祉部	山根 健資	R04一般補正 職員管理	総務部
	R04一般補正 企画政策推進	総務部		R04一般補正 観光一般	生活産業部
R04一般補正 商工業振興	生活産業部	R03一般決算 ポップカルチャーによる観光誘客事業		生活産業部	
丸田 克孝	R04一般補正 防災行政無線更新事業	総務部	R03一般決算 倉吉版経営持続化支援事業（拡充分）	生活産業部	
	R04一般補正 表彰式・叙勲・褒章	総務部			

R03一般決算 …認定第1号令和3年度倉吉市一般会計歳入歳出決算の認定について
R04一般補正 …議案第51号令和4年度倉吉市一般会計補正予算（第5号）

主な質疑・答弁

企画政策推進

補正前	161万6千円
補正額	659万3千円

DX（デジタルトランスフォーメーション）推進に当たり、外部人材から計画策定等のサポートを受けるもの。地域のDXの推進にあたりWell-Being（幸せ実感・生活満足度）アンケート調査を行い、地方創生に関する施策へ展開するもの。

職員管理

補正前	7,088万4千円
補正額	1,535万3千円

産前産後休暇、育児休業、病気休暇等により正職員が長期に渡り職務が出来ない場合に、事務に支障をきたさないよう当該職員の代替として会計年度任用職員を充てるため、決算を見込んで補正するもの。

商工業振興

補正前	4,167万7千円
補正額	193万1千円

倉吉市内の中学校・高校の生徒、短期大学等の学生を主なターゲットとして、十分に知られていない市内企業の強みや魅力を伝えられるパンフレットを作成することで、市内企業への就職を考えるきっかけ作りを行うもの。

的」な考えを確認し、今後の施策の立案に役立てていく。

労働組合や業務委託先にも相談窓口がある。勤勉手当、扶養手当、住居手当は、会計任用職員には支給が無いのが現状。

Q DX推進のための外部人材の登用について。

A 県内在住の大手通信会社の社員を招聘し、職員と一緒に本市DXの課題や可能性を探る。

Q Well-Being（幸せ実感・生活満足度）のアンケート調査の実施概要について。

A 8,500人の市民に調査を実施する。健康、福祉、子育て、教育等といったテーマにおける、これまでの「客観的」なアンケート調査ではなく、「主観

A 会計年度任用職員についての詳細は。

Q 通年雇用28人分。内訳は、産休、育休、及び病休代替で11人。欠員補充や事務増加対応11人、障がい者雇用6人。具体的には昨年度末から今年度当初にかけて正職員や再任用職員に多くの退職者が生じた事や新型コロナウイルス等、想定より多い事が要因となり、欠員補充や事務増加対応の必要になったもの。職場でのハラスメントや精神疾患等による対応は、職員課が第一義的に対

Q 概要と今後の計画は。

A とつとり企業ガイドとの差別化を図りながら、製造業から40社掲載。

学生が手に取りやすく、継続的に企業の追加・修正が容易なスマホやタブレットで閲覧できるeBookで展開する。QRコード記載のチラシを中高短大等へ配布し、SNSを使って市外に進学している学生にも周知する。県のふるさと定住機構や鳥取出身の大学生ネットワーク等を

Q 積算根拠は。

A 人件費（プロカメラマンとライター）164万円、eBook経費8万5千円、チラシ作成費、デザイン料3万円、計175万5千円。税込みで193万円余。

観光一般

補正前	1,476万4千円
補正額	70万4千円

ポストコロナにおける中部圏域へのインバウンド誘致を促進し、地域経済の活性化を図るため、中市町が連携し、台湾からのチャーター便や定期便の就航に向けたトップセールスを行う。

Q 台湾チャーター便誘致のトップセールスについては。

A 外国人の方は、日本人の旅行消

【質疑とは？】

市長から提案された議案に対し、賛否の態度決定が可能になるよう、疑問や不明確な点を問う発言をいいます。自己の意見を述べることはできません。倉吉市議会では、質問回数は1議題5回までとなっています。



【議案に対する質疑】

【質疑とは？】

市長から提案された議案に対し、賛否の態度決定が可能になるよう、疑問や不明確な点を問う発言をいいます。自己の意見を述べることはできません。倉吉市議会では、質問回数は1議題5回までとなっています。

Q 補正額を決定した経緯は。

— 観光関連の指定管理施設「せきがね湯命館」において、新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少や燃油・物価高騰によるコスト増加といった不可抗力による事由により赤字が発生していることから、臨時の指定管理料を支払うもの。

補正前	454万円
補正額	800万円

観光施設維持管理事業

(関金地区)

費額の3倍(約15万円超)とも言われている。台湾は、県内の旅行消費額、宿泊数ともにトップ3に入る国。チャーター便や定期便の就航に向けた県内の動きがある。1市4町の首長が連携して3泊4日程度の日程で台北を中心に旅行会社に売り込みをかける。台湾との姉妹提携は、現時点ではそこまで考えが及んでいない。三朝町、北栄町は既に交流を進めている。台湾のチャーター便は、現在延期されているが、年度内に実施が検討されている。

A 令和4年度収支計画と決算見込みにより発生する赤字額を指定管理料で補填するもの。

売上1,930万円、見込み額1,270万円で20%の減。燃料費520万円約19%増が見込み。8月時点での800万円の資金のショートを起こす恐れがあるため。

Q 一昨年の同期の売り上げなどと比較すると98万円の利益が出ている。今回の見込み減になっているのは、他に原因があるのでないか。

A 企業側としても努力しているが、今回は燃料費高騰と売上げ見込み額の減少で考えている。

Q この現状では補填は当然であるが、市民の満足が大事であることから、今後は赤字を少なくする努力が必要ではないか。

A これからも協議を重ね、収支の改善に取り組む。

観光関連団体助成事業

補正前	4,794万1千円
補正額	223万7千円

— 鳥取県が行うポストコロナを見据えたインバウンド誘致の

取組に呼応して、県中部圏域への誘客を図るため、県中部市町と一般社団法人鳥取中部観光推進機構が連携して創設する旅行支援制度の負担金を支払うもの。

※台湾チャーター便の訪日外国人観光客に対する試行的な旅行支援

Q 観光推進機構は、新たに作る組織なのか。また、どういふところと連携しているのか。

A 台湾観光客の受入はどうなっているか。

A 平成28年に、県、1市4町、民間事業者も加わって作ったもので、観光協会やホテル、旅館組合も入っている。したがって、受入体勢は整っている。

史跡大御堂廃寺跡整備事業

補正前	2,486万円
補正額	△659万円1千円

— 史跡大御堂廃寺跡整備検討委員会において築地塀の復元に関する検討が延期されたことに伴い、築地塀復元基本設計業務委託料等を減額し、整備

検討委員会への委員のリモート参加により不要となった旅費を減額するもの。また、文化庁から北築地塀を確認するよう指導があったことに伴い、発掘調査に係る費用を増額するもの。

Q 追加になった北築地塀発掘調査費用は全て倉吉市の一般財源で行われるか。

A 国、県の補助もあり事業費全体の3分の1を本市の財源で行う。

Q 整備実施設計測量業務、ガイダンス施設設計業務の委託業務費が減額になっているがその理由は。

A 測量業務は測量方法の変更による減額、ガイダンス施設設計については県内業者へ設計業務を委託可能とするため、展示物を本市の文化財課職員が手作りする事による減額。

Q ガイダンス施設の防犯機能は十分に備えて頂きたいが無人の施設を予定しているか。

A 当初の予定は無人だが整備検討委員会、文化庁と協議して今後決定したい。

【特別委員会】

【特別委員会とは?】

臨時的に特別な問題について審査または調査を必要とする場合に設置されます。

地域の賑わい創出対策特別委員会

委員	丸田 克孝 委員長
	田村 閑美 副委員長
	伊藤 正三 委員
	鳥羽 喜一 委員
	福井 典子 委員
	福谷 直美 委員
	米田 勝彦 委員

第6回地域の賑わい創出対策委員会を開催しました。

魅力ある市街地を形成するため、

- ①県立美術館周辺の整備と活用に関すること
 - ②中心市街地の観光政策に関すること
- を調査、検討するため設置されました。

今回は5項目について執行部から報告を受け、協議しました。

- (1) 打吹つながるモビリティの実証実験について
- (2) 史跡大御堂廃寺跡整備事業スケジュールの変更について
- (3) 史跡大御堂廃寺跡ガイド施設設計(素案)パブリックコメントについて
- (4) 倉吉交流プラザ・パークスクエアトイレ感染症対策工事について
- (5) リス舎跡周辺におけるおもてなしスポットの設置提案について

以上、今後も経過を見極めながら引き続き調査検討をしていきます。



議会改革推進特別委員会

委員	藤井 隆弘 委員長
	大津 昌克 副委員長
	朝日 等治 委員
	大月 悦子 委員
	竺原 晶子 委員
	鳥羽 昌明 委員
	山根 健資 委員

開かれた議会を実現するため、

- ①議会基本条例案の作成
- ②議会BCP案の作成
- ③議会のタブレット導入・運用
- ④議員定数

の4点の調査、検討のため設置されました。現在まで18回の委員会を開催、議会基本条例案作成では委員によるワークショップ等も実施しながら調査、検討を行い、素案ができました。今後はパブリックコメント、市民の皆様との意見交換等を通じ、より良いものとするよう努めてまいります。

議会のタブレット導入・運用は、「倉吉市議会タブレット端末機使用基準」を作成、8月31日には効率的で効果的な会議システムの選定を行いました。議会BCP案の作成は素案の作成中であり、議員定数についても様々な視点から適当な議員数を研究する等、継続して進めているところです。

鳥羽喜一議員の辞職について

令和4年10月14日(金)、鳥羽喜一議員から10月15日(土)をもって議員辞職したい旨の願が提出され、10月14日付けで議長において許可されました。



【常任委員会】

【常任委員会とは？】

所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願などを審査します。行政の事務は多岐にわたり、かつ専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するよう部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

教育福祉常任委員会

委員	鳥羽 昌明	委員長
	山根 健資	副委員長
	伊藤 正三	委員
	大津 昌克	委員
	佐藤 博英	委員
	福井 典子	委員
所管	健康福祉部、教育委員会	

教育福祉常任委員会には認定4件、議案3件、陳情1件が付託され、委員会審査が行われました。

倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について

議案第55号の審査では、統合後の新校名の決定過程について様々な議論が交わされました。

なお、本議案に関する内容については閉会中の継続審査として所管事務調査を実施しており、その中間報告を9月12日の本会議で行ったところです。

審査の結果

議案第55号については賛成多数により継続審査に、その他の認定案件および議案は全て認定、可決されました。

陳情第19号については全員賛成により趣旨採択となりました。

議案第55号については、議案そのものに反対はしないうが市民の間で議論が大きくなっている現下の状況を踏まえて最終結論を出す時期にはないと判断したもので、あわせて教育委員会に対し、市民への説明責任、統合準備委員の負担軽減、両校の児童への配慮などを求めました。

なお、本件についてはその後の本会議で本委員会の「継続審査」の申し出が否決されたことから、再度委員会を招集して再審査を行い採決の結果、賛成多数により可決されました。

総務建設常任委員会

委員	米田 勝彦	委員長
	竺原 晶子	副委員長
	朝日 等治	委員
	大月 悦子	委員
	福谷 直美	委員
	藤井 隆弘	委員
所管	総務部、建設部、会計課、上下水道局、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会	

総務建設常任委員会には令和3年度認定8件、令和4年度議案9件、請願1件、が付託され、委員会審査が行われました。

基金の効果的活用認定第1号歳入では、基金の積立額について意見が交わされました。執行部の考えは、

国は財政規模の5〜20%を確保すべきとしており、現在倉吉はこの辺りにいるのでこれをキープしたい、と言う説明でした。委員から

は、何かの時にはお金がいるので基金のキープは必要だが、市民の皆様の要望に對しては、お金がないからできない、と否定的では無く、前向きに検討して頂きたい、との意見が多く出ました。

令和4年度補正予算関係議案第51号では、防災行政無線の更新、議案第56号では辺地の光ファイバー整備、議案第57号市民の方の功労表彰等各事業の説明を受け審査しました。

審査の結果

付託されました認定、議案は、全て可決され、請願第2号は出席委員全員賛成で採択されました。

生活産業常任委員会

委員	福井 康夫	委員長
	鳥飼 幹男	副委員長
	田村 閑美	委員
	鳥羽 喜一	委員
	丸田 克孝	委員
所管	生活産業部、農業委員会	

生活産業常任委員会には、1件の令和3年度倉吉市一般会計等の決算認定、2件の令和4年度一般会計等の補正予算。そして2件の陳情が付託され、9月15日に委員会審査が行われました。認定第1号令和3年度一般会計決算認定では、定住対策事業の実績として35歳以下の移住世帯187世帯、261人の移住者が報告されました。ふるさと納税では2億3千4百万円と実績報告がなされました。一昨年、昨年より納税額が減

少傾向にあり、工夫が必要と指摘（一昨年6億7千4百万円、昨年4億9千6百万円）。令和4年度補正予算では、企業誘致として西倉吉工業団地南エリア側測量設計業務として、3千4百万円計上。市内企業などへの補助金について審議されました。

審査の結果

議案はいずれも認定、可決されました。

陳情の結果

陳情第16号「倉吉市における個人情報適切な管理について」は採択。陳情第18号「市民からの意見の公開と開かれた行政の推進について」は、採決により、趣旨採択となりました。

あなたの写真で表紙を飾ろう！

議会だよりの表紙写真を募集します

倉吉市内で撮影された季節が感じられる写真で、市を紹介できる作品を募集しています。詳細は倉吉市議会ホームページをご覧ください。

【応募先】〒682-8611 倉吉市葵町722 倉吉市議会事務局
電子メール: gikai@city.kurayoshi.lg.jp
<https://www.city.kurayoshi.lg.jp/gyousei/div/gikai/e123/m108/>



本会議、委員会などを傍聴する方へのお願い (新型コロナウイルス感染防止対応策について)

傍聴にお越しの際には、次のことにご留意ください。



傍聴前の検温をお願いします。



健康状況シートへ記入をお願いします。



マスクを着用してください。



隣の人と
1メートル以上離れて座るようにしてください。



入場前の**手洗い**と、入場時の**アルコール消毒**を徹底してください。



なお、本会議についてはケーブルテレビ放送(日本海ケーブルネットワーク・121ch)を行っていますのでご利用ください。



【議案等の議決結果】

9月定例会に提出された議案等のうち、賛否が分かれた案件は、議案の2件でした。

議員個人の表決は以下のとおりです。なお、表に掲載していない議案等は、「起立全員」、「異議なし」で可決しました。



議決結果

賛否の内訳

議案番号	件名	議案に対する賛否														賛成	反対	議決結果			
		藤井隆弘	丸田克孝	大津昌克	大月悦子	福谷直美	鳥飼幹夫	福井康夫	鳥羽昌明	笠原晶子	伊藤正三	朝日等治	米田勝彦	山根健資	福井典子				佐藤博英	鳥羽喜一	田村閑美
議案 第 51号	令和4年度倉吉市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	-	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×	○	○	14	1	原案可決
議案 第 55号	倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について	×	×	×	×	-	○	○	○	○	※	○	※	○	○	※	○	○	9	4	原案可決

凡例 ○賛成、×反対、※退席・除斥・欠席、一議長のため表決に加わらず

【議案第55号に関する議決結果】

議案第55号に関する議員個人の表決は以下のとおりです。
関連する内容は、P15をご覧ください。

賛否の内訳

議案番号	件名	議案に対する賛否														賛成	反対	議決結果			
		藤井隆弘	丸田克孝	大津昌克	大月悦子	福谷直美	鳥飼幹夫	福井康夫	鳥羽昌明	笠原晶子	伊藤正三	朝日等治	米田勝彦	山根健資	福井典子				佐藤博英	鳥羽喜一	田村閑美
	議案第55号の撤回請求	○	○	○	○	-	×	×	×	×	※	×	○	×	×	×	○	×	6	8	否決
	教育福祉常任委員会からの議案第55号の継続審査の申し出	○	○	○	○	-	×	×	×	×	※	×	○	×	○	※	×	×	6	8	否決
議案 第 55号	倉吉市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について	×	×	×	×	-	○	○	○	○	※	○	※	○	○	※	○	○	9	4	原案可決

凡例 ○賛成、×反対、※退席・除斥・欠席、一議長のため表決に加わらず

請願・陳情の結果

番号	件名	委員長報告(付託委員会)	委員長報告に対する賛否														賛成	反対	議決結果		
			藤井隆弘	丸田克孝	大津昌克	大月悦子	福谷直美	鳥飼幹夫	福井康夫	鳥羽昌明	笠原晶子	伊藤正三	朝日等治	米田勝彦	山根健資	福井典子				佐藤博英	鳥羽喜一
請願 第 2号	会計年度任用職員の処遇改善にむけた法改正と雇用安定を求める意見書提出について	採択	○	○	○	○	-	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	15	0	採択
陳情 第 16号	倉吉市における個人情報の適切な管理について	採択	○	×	○	○	-	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	14	1	採択
陳情 第 17号	市民からの意見・質問等に対する適切な対応について	取下げ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			取下げ
陳情 第 18号	市民からの意見の公表と開かれた行政の推進について	趣旨採択	○	○	○	○	-	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	15	0	趣旨採択
陳情 第 19号	新小学校の校名の見直しについて	趣旨採択	○	○	○	○	-	○	×	○	×	※	○	○	○	○	○	○	13	2	趣旨採択

凡例 ○賛成、×反対、※退席・除斥・欠席、一議長のため表決に加わらず

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成は「○」、反対は「×」と記載しています。

【会派名】 ◀…くらしし 公・新…公明党 改革新政会市議団 さ…さきがけ 共…日本共産党 つ…つづき こ…こころ

【臨時会とは?】

突発的事情などにより、次の定例会の開催を待つことができない場合、特定の事件に限ってこれを審議するために、臨時招集される議会のことをいいます。



【会派名】

くらしよし

公・新

公明党 改革新政会市議団

さ さきがけ

共 日本共産党

う つぶき

こ こころ

賛否の内訳

議案番号	件名	議案に対する賛否																賛成	反対	議決結果		
		藤井隆弘	丸田克孝	大津昌克	大月悦子	福谷直美	鳥飼幹夫	福井康夫	笠原晶子	伊藤正三	朝日等治	米田勝彦	山根健資	福井典子	佐藤博英	田村閑美						
議案 第 62号	令和4年度倉吉市一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	-	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	14	0	原案可決

凡例 ○賛成、 ×反対、 ※退席・除斥・欠席、一議長のため表決に加わらず

議案第55号 倉吉市小学校及び中学校設置条例の一部改正について

多くの市民の方から経過を知りたいとの要望に応じて、審議の経過をご説明いたします。

9月5日 9月倉吉市議会定例会に議案第55号が上程される。

9月13日 教育福祉常任委員会に付託される。

陳情書「新小学校の校名の見直しについて」の陳情提出者からの意見陳述申出を許可することを決定。

審査経過

- 委員会 1 日目 意見陳述を実施。議案第55号の審査。
- 2 日目 審査不十分として採決先送りの動議が可決。
- 3 日目 採決。継続審査の動議があり議案第55号は継続審査となる。

9月22日 9月倉吉市議会定例会最終日

・市長から議案第55号の撤回請求。

理由 本議案は、令和5年3月をもって成徳小学校及び灘手小学校を閉校し、並びに4月から両校を統合して新たに至誠小学校を開校するためのものですが、この新たな小学校の校名選定の過程について、議員の皆様、そして、市民の皆様から様々なご意見・ご指摘を頂いているところであります。これらご意見・ご指摘は大変貴重なものであり、再度、倉吉市立成徳小学校・灘手小学校統合準備委員会においてご確認いただくことが必要と考え、議案の撤回をお願いするものであります。

採決 賛成 6名、反対 8名 結果 請求は不承認となる。

・各常任委員会委員長報告並びに同報告に対する質疑

教育福祉常任委員会の継続審査の申出を採決。

採決 賛成 6名、反対 8名 結果 否決される。

・否決されたため、再度教育福祉常任委員会を開催し、議案第55号を審査。

採決の結果全員賛成（退席者あり）により、原案可決すべきものと決定。

・本会議を再開

教育福祉常任委員会委員長の報告並びに同報告に対する質疑

議員間で賛成・反対の討論。

採決 賛成 9名、反対 4名 結果 原案とおり可決した。

※議員個人の賛否の内訳は議会だよりP14議案第55号に関する議決結果をご覧ください。

【討論とは】

議題となっている議案が採決される前に、議員がそのことに対して、賛成または反対の立場に立って演説することを「討論」といいます。議案について反対なら「反対討論」、賛成なら「賛成討論」となります。

反対討論・賛成討論は、自分の意見を表明することに加え、意見の異なる相手に自分の意見に同調してもらえるよう働きかける意味があります。


討論をする議員が2人以上いるときは、最初に反対者を発言させ、次に賛成者を発言させる、というように、反対・賛成の討論をなるべく交互に行わせることになっています。



市民の こえ 声

令和4年 12月 倉吉市議会定例会

【会 期】12月5日(月)～12月19日(月)

【会議日程】

月日	曜日	会議区分	時間	内容	
12月5日	月	本会議	午前10時	議案の上程、提案理由の説明	
6日	火	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
7日	水	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
8日	木	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
9日	金			予備日	
10日	土			休会	
11日	日			休会	
12日	月	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑～	
13日	火			予備日	
14日	水	委員会		常任委員会(予定)	
15日	木			予備日	
16日	金			議事整理日	
17日	土			休会	
18日	日			休会	
19日	月	本会議	午前10時	委員長報告～ 付議議案の討論・採決	

 …ケーブルテレビ放送あり
※録画放送は開催日の午後7時から。
 …手話通訳あり

倉吉市議会の情報は、ホームページでもご覧いただけます。
会議予定、議長日程、議員名簿、市議会だより、会議録などを掲載しています。

倉吉市議会

検索



編集 後記

議会だよりを読んでいただきありがとうございます。
ます。

9月定例会最終日には議会改革推進特別委員会
の中間報告がありました。この条例は、市議会の活動原則
や運営方法など議会に関する基本的事項を定め、議会をより
活性化し、市民の負託に応え、市民のための開かれた議
会を実現することを目的としています。この条例が施行さ
れ、市民の皆様のために、更に活発な議論が展開されるで
しょう。今回、岡野様から市民の声に投稿いただいた「市
民の負託に応えるには、覚悟して仕事に集中を」は大変重
く受け止めました。今後も市民の皆様からの投稿をお願い
いたします。議会を大きく揺さぶってください。

この議会だよりが皆様のお手元に届くころは、雪景色に
なっているかもしれません。新型コロナウイルス感染拡大
が収束し、新しい年の準備ができますことを願います。

(編集委員 大月悦子)

議会だより「白壁」の
ご意見・ご感想はこちら ▶



倉吉博物館協会
会長

岡野

みのる
稔さん

—倉吉博物館協会の会長に就任して思うこと

博物館は、倉吉の宝物であふれています。そのこ
とに気付かない人が意外と多いように思います。経
済人らしき私の会長就任は、少し場違いのような気
もしますが、多分「少し違った発想を会で運営して
もらいたい」という、根鈴館長の戦略があったのかも
しれません。

当面は、コロナ禍でもあり、大したことはできませ
んが、減少している会員募集に力を入れています。
法人会員、個人会員の方、共にたくさん入会して
いただきたいと思っています。

「もっと楽しく、もっと面白く」皆さんと楽しみなが
ら、知識を増やし、感性を磨いていければと思って
います。また、いろいろな方とお話をすると、会その
ものの存在を知らない人が意外と多いことに驚いて
います。

—県立美術館館に期待すること

倉吉博物館は、令和7年に開館50周年を迎えま
す。丁度、県立美術館がオープンする年になります。
県立美術館開館を大きな機会と捉えて、倉吉市の活
性化に繋げていこうというお話は市議会も市も考え
ておられると思いますが、中部に限らず、鳥取県全体
を盛り上げていけるような連携が必要だと考えてい
ます。アートツーリズムを推進して行くには、各市町
村の努力とそれをコーディネートすることに、特化し
た組織を作らなければいけないと思っています。

—市議会に望むこと

市議の方々は、4年間という任期ですが、市民か
ら選ばれてその職にあります。市民の負託に応える
には、覚悟して仕事に集中していただきたいと思っ
ています。

すでに、博物館協会の会員でいらっしゃる議員の
方もおられますが、是非、市議会議員の皆さんが入
会していただくことを望みます。

お互いに切磋琢磨して、素晴らしい街づくりに向
かっていければ最高です！

【議会だより編集委員】

笠原 晶子委員長、山根 健資副委員長、大月 悦子委員
田村 閑美委員、佐藤 博英委員、鳥羽 喜一委員

発行：倉吉市議会

編集：議会だより編集委員会

〒682-8611 鳥取県倉吉市葵町222

TEL (0858) 22-8145

FAX (0858) 22-8146